

令和7年第6回笠間市教育委員会定例会議事録

- 1 招集日時 令和7年6月24日（火） 午後2時00分開議
- 2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室
- 3 議事録署名人 鳥羽田 信
- 4 教育長及び出席委員
教育長
教育委員 4名
事務局 12名
- 5 傍聴人 なし
- 6 提出された議題（議事） 以下のとおり
- 7 会議の大要

(1) 開会

- 小沼教育長 午後2時00分開会を宣す。
小沼教育長 会議に先立ちまして、私から「専決処分の承認を求めることについて」の議案を発議いたします。本日の議事日程において、「専決処分の承認を求めることについて」を「報告第12号」として追加したいと思っております。ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

- 小沼教育長 異議なしと認め、「専決処分の承認を求めることについて」を「報告第12号」として議事に追加いたします。

(2) 議事録署名人の指名

- 小沼教育長 鳥羽田委員を指名する。

(3) 教育長の報告

- 小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。

- 小沼教育長 教育長のお事務報告が終わりました。委員の意見を求めます。

鳥羽田委員 6月18日に笠間市文化協会と調布市文化協会の交流研修が行われていますが、どのような接点があるのでしょうか。

小沼教育長 接点はなかったようです。調布市文化協会は毎年2回、宿泊研修と日帰り研修を行っており、関東近郊を回られているという中で、笠間市は観光に力を入れているということと、調布市文化協会と笠間市文化協会ともに20団体あり、規模が同じくらいであるということで、ぜひ交流をしないと、バス1台41名の大所帯で見えました。初めに笠間稲荷神社を見学して交流会に参加し、午後は、日動美術館で作品を鑑賞するというコースで、内容の濃い研修会になったと喜んで帰られました。

鳥羽田委員 今後交流は続けて行くのでしょうか。

小沼教育長 続けていくかは文化協会同士の話となりますが、文化協会同士のつながりは珍しいことなので、続けていければという話をしました。

小沼教育長 その他ございますでしょうか。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。

(4) 議事

小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「報告第11号」については、人事案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「報告第11号」の案件を非公開といたします。

【報告第11号】 非公開

小沼教育長 それでは、非公開の案件が終了しましたので、会議の非公開を解除いたします。

- 小沼教育長 続きまして、「報告第12号 専決処分の承認を求めることについて」事務局より説明を求めます。
- 事務局 15ページをご覧ください。「報告第12号 第27回参議院議員通常選挙における職員の兼務（充当、事務従事）の協議について」の専決処分の承認を求めることについてご説明いたします。資料にありますように、令和7年6月18日付けで、笠間市選挙管理委員会から第27回参議院議員通常選挙における職員の兼務について、地方自治法第180条の3の規定による協議がありました。委員会を招集する時間的余裕がないので専決処分を行ったものです。なお、7月20日施行予定の選挙当日、教育委員会所管で、選挙事務事務に従事する職員は、17名となります。説明は以上です。
- 小沼教育長 ただいま事務局より説明がありましたが、「専決処分の承認を求めることについて」は、別紙のとおり上程されています。これより質疑に入りますが、何かご質問等はございますか。
- 各委員 (特になしの声)
- 小沼教育長 それでは採決に入りますが、原案のとおり承認することに異議ございませんでしょうか。
- 各委員 (異議なしの声)
- 小沼教育長 異議なしと認め、「報告第12号 専決処分の承認を求めることについて」は、原案のとおり承認いたします。
- 小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。
- (5) その他
- 小沼教育長 続きまして、その他の事項に入ります。それでは、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは鳥羽田委員からお願いします。
- 鳥羽田委員 5月23日に市町村教育委員会連合会の定期総会に出席しましたので、そのご報告をしたいと思います。総会后、黒岩 禅氏の講演会が行われました。この方は、5歳で父親のDVにより母親が家を離れ、その後父親から虐待を受けたり、学校でいじめを受けたりして、養護施設で生活をするようになり、将来に夢を持たな

い生活を送っていたそうです。その中で、中学校で出会った先生に高校進学を進められ、定時制高校に進学したそうです。卒業後は、TSUTAYAに入社、赤字店を黒字店に変えるなど活躍されたという経歴の方でした。講演会は、一人でもいじめを受ける子どもを無くしたいという内容で、主に3点話がありました。1点目は、いじめは常にあるということでした。いじめの件数が多いということは、それだけ目が届いているということで、件数が多いイコール悪いことと考えると、いじめが起きた時にスルーしてしまうようになるという話でした。2点目は、子どもがいじめを受けた時に相談をしたり、助けてと言える人になったりしてほしいということでした。普段から難しい顔をしている人や、挨拶をしないような人には、子どもたちは相談しない、毎日楽しそうにしている人や話を聞いてくれる人に相談するのではないかと、人に対して丁寧に対応する人が人間力があるのではないかと話しました。その中で、先生は挨拶が下手だという話もできました。3点目は、いじめという言葉は、解釈の仕方が人により違いがあるということでした。いじめられているように見えても、子どもはいじめられていると感じていない場合もあるし、いじめられていると言いたくない子どももいるので、学校でいじめに関するアンケートをとることがあると思いますが、「いじめられていますか？」という質問では、十分な結果が得られないのではないかと指摘がありました。具体的な言葉で、例えば、「消しゴムがなくなっていないか。」「鉛筆が折られていないか。」「教科書に落書きがされていないか。」といった項目を上げると、もっとアンケートの内容が充実するのではないかと話がありました。

小沼教育長

続いて、廣原委員お願いします。

廣原委員

学校運営協議会委員の任命についてありましたが、小学校は、学区全体からたくさんの方が委員になってくれています。中学校は、何校か集まるような大きな学校では、中学校の所在地の小学校学区の方が多くなり、他の小学校学区の方が少なくなりがちです。学校としては、いろいろな地域の方に委員になっていただきたいのですが、小学校に協力をお願いしてもなかなか集まらず、難しかったです。できれば、いろいろな小学校学区から選んでほしいと思います。意見が上がってこない学区のところは、わからないことが多いので、難しいかとは思いますが、様々な学区から選任をお願いしたいと思います。もう1点、「かさめ〜」の配信で、学校や家庭でのトラブルにお困りの方ということで、小学生の保護者向けでしょうか、研修会が案内されていました。「困った

ときはどうするの!? かかわり方を学ぼう・考えよう」ということで、①「お友達とのトラブルにどう対応したらいいの?」、②「かんしゃくにどう対応したらいいの?」、③「こだわりはどう対応したらいいの?」、の3回予定されおり、いずれも笠間市こども育成支援センターで行われます。子育てをする中で、困っている保護者の方はいらっしゃるので、とてもいい研修だと思ったのですが、「かさめ〜る」を入れている方には届きますが、入っていない方は、どこから情報を得られるのでしょうか。他では見かけなかったような気がしました。今回は、小学生の保護者向けでしたが、このような事業が続いていくといいと思いました。

事務局 「かさめ〜る」のほかに、保護者向け配信アプリ「tetoru」がありますので確認します。

小沼教育長 続いて、吉崎委員お願いします。

吉崎委員 映画「国宝」を観てきましたので、感想をお話したいと思います。内容は、任侠の家に生まれながら、歌舞伎の名門の当主に引き取られ、歌舞伎役者として芸の道に人生を捧げた男の激動の人生を描いた人間ドラマです。当主の跡取り息子と主人公の二人が厳しく育てられていく中で、仲良くしながらもライバルとして切磋琢磨し、いろいろな経緯を経て人間国宝となっていきます。演じている役者も素晴らしかったのですが、私が一番感動したのは、当主が二人を歌舞伎役者として厳しく育てていく指導の仕方です。歌舞伎としての『カタ』をどのように作っていくか、これは観阿弥世阿弥のころから言われてきたことですが、現在人間国宝である坂東玉三郎が『カタの効用』について、「役者個人個人で異なるものですが、劇に対する共通のメソッドがそこに存在します。歌舞伎の世界では、歌や義太夫の稽古などで、否が応でも『カタ』を作らせる。自由なものを知る前に不自由なものを教え込まれる。そうすると応用可能なものと、そこから外れるものとの的確な見分けがつくようになるのです。」と朝日新聞で述べています。学校教育でどういうことが言えるかということ、最も注目されているのが探究学習です。子どもたちが自分たちでテーマを作って追求しながら、いろいろな方の支援を受けて、そして成果発表をして交流するのが、小中高とも一番の目玉となっている探究学習です。そして、それを支えるデジタル学習基盤です。その探究学習のために大事なのが、基礎基本の習得です。基礎基本ができていないと、探究した時の質が高まらないということが改めて言われており、基礎基本の習得と探究的学習の両輪をどのように関連

付けるのかということが、大きなテーマとなっています。この点は正に、映画「国宝」も同じで『カタ』という窮屈なものだけでなく、基礎基本をきちんとすることによって、その人独自の新たなものが生まれてきて人間国宝になっていくわけです。当主を演じた役者の渡辺 謙はそのことを的確に表現し、その意味を見事に演じたと思いました。

小沼教育長

最後に井上委員お願いします。

井上委員

個人的には、今の日本の一番の教育は「食」という日本の文化を大事することだと思っています。「食」からはいろいろ学ぶことがあって、それは文化にも伝統にもつながっていくと思います。海外にいた時に思ったことは、海外では皿なども、自分の食器という感覚がなく、韓国では箸でも銀や鉄製のものを使っていますが、日本では木の箸を使い、自分の茶碗、湯飲み、お椀があります。文化を考えると塗りのお椀が最初で、それが丈夫になり焼き物に代わっていく、この「食」の文化が歴史にもつながってくる場所があります。自分の経験ですが、子どもが年長の時、夕飯を食べる時間を計ってほしいと言いました。何故かという、小学校になって給食の時間内に食事ができるよう、園で練習をしていて、時間内に食べられると判子がもらえるからということでした。確かに、決められた時間内でやらなければならないのはわかるのですが、コロナで向かい合って食事をすることや会話することが減りましたが、本来食事の時間は、いろいろな話をして交流を深める時間なのではないかと思っています。大人になってからもそうですが、食事の時間が一番いろいろな会話ができて、その人の文化、考え方がわかっていくところだと思っています。今の学校教育の時間の中で難しいのはわかるのですが、一番最初にその時間を切り捨てていくのは違うのではないかと思っています。同じような見た目でも自分の茶碗がわかったり、木の箸を使うことで味覚が繊細だったりする感性が日本人独特のもので、すごいことだと思います。そういう繊細な部分を活かして、教育を考えていく必要があるのではないかと思っています。

小沼教育長

本年度につきましても、各教育委員の皆さんに、教員向けまたは子ども向けに、お一人一コマずつ研修会や授業を持っていただけたらと思っていますので、ぜひ今の思いなどを伝えてもらえればありがたいと思います。後ほど、事務局から連絡をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

小沼教育長 ほかにございますか。

吉崎委員 井上委員の話を聞いてなのですが、笠間市には北大路魯山人の住居を北鎌倉から移築した「春風萬里荘」があります。魯山人は美食家であり、食を通して、器にも興味を持ち、収集したり、作ったりしたわけですが、食と器の関係ををものすごく大切にされた美術評論家であり、食文化評論家だったと思います。その魯山人の住居が、どのような経緯で笠間市に来たのか教えてほしいです。

小沼教育長 日動美術館が買い取ったのだと思います。

吉崎委員 笠間市は陶芸の里ですから、それが食とうまく繋がっていけばいいと思っています。

井上委員 魯山人は美食家でしたが、最後には盛り付ける器にもこだわりを持って、作陶をするまでになりました。今は100円ショップでも、結構見た目の良いおしゃれな器が売っていますが、100円で売っているものでも作る工程はほぼ同じです。機械的にやっているか、個人でやっているかの違いです。ただ、その100円の器で食べるのと、例えば、陶炎祭に行って、自分の気に入ったものを探して、選んだもので食べるのとでは思い入れが違うと思います。その器に料理を盛り付けて食べる、ストーリーがあって思い出が加わるのではないかと思います。花瓶に花を生けるのも同じだと思います。今の時代、子どもたちも塾などで時間に余裕がない生活を送っています。だからこそ、大人が親が、そのような余裕のある環境を作っていくことができないかと思うところです。今回、教育委員を引き受けたのも、そのような思いもあり、子どもたちの将来に希望を与えられるようなことをしてあげないといけない、どうにかしないといけないと思っています。それにより、豊かさが戻ってくるのではないかと考えています。

小沼教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

各委員 (特になし)

(6) 閉会

小沼教育長 午後2時42分閉会を宣す。

8 議決事項

- | | | |
|--------|-------------------|----|
| 報告第11号 | 専決処分の承認を求めることについて | 承認 |
| 報告第12号 | 専決処分の承認を求めることについて | 承認 |